

みずほCustomer Desk Report 2017/07/19 号(As of 2017/07/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.60	1.1474	129.20	0.9633	1.3054	0.7790
SYD-NY High	112.68	1.1583	129.75	0.9633	1.3126	0.7942
SYD-NY Low	111.69	1.1472	129.07	0.9524	1.3005	0.7786
NY 5:00 PM	112.07	1.1553	129.47	0.9552	1.3041	0.7915

USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.955/8.355	25RR	1.165	Yen Call Over
--	-------------	------	-------	---------------

NY DOW	21,574.73	▲ 54.99	債券市場	日本2年債	-0.1010	0.3bp
NASDAQ	6,344.31	29.87		日本10年債	0.0720	▲ 1.1bp
S&P	2,460.61	1.47		米国2年債	1.3477	▲ 0.8bp
日経平均	19,999.91	▲ 118.95		米国5年債	1.8129	▲ 4.7bp
TOPIX	1,620.48	▲ 5.00		米国10年債	2.2590	▲ 5.5bp
シカゴ日経先物	20,000.00	▲ 60.00		独10年債	0.5540	▲ 2.7bp
ロンドンFT	7,390.22	▲ 13.91		英10年債	1.2070	▲ 6.3bp
DAX	12,430.39	▲ 156.77		豪10年債	2.7440	1.3bp
ハンセン指数	26,524.94	54.36		為替市況	USD/CNH	▲ 0.0140
上海総合	3,187.57	11.10		ドルインデックス	94.60	▲ 0.52

東京	東京時間のドル円は112.60レベルでオープン。日経平均株価が軟調推移となったことに加えて、オバマケア代替法案可決への反対表明が増えたことを受けて米金利が低下したこと等を背景にドル円は112円台前半まで下落。一時111.99をつける局面が見られたが、その後は下げ止まり112円台前半での方向感に欠ける推移が続き、結局112.09レベルで海外へ渡った。また、この日公表された豪準備銀行(RBA)理事会議事要旨の内容を受けて豪ドルは大きく買われる展開。対ドルで0.7790レベルでオープンすると、7月RBA議事要旨において豪州経済に対する前向きな見方が示されると0.78台後半まで急進。その後も豪ドル買い優勢の展開が続く中、一時0.7924まで上昇。高値圏でのもみ合い推移が続き、0.7916レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
----	--

ロンドン	ロンドン時間のドル円は112円台前半で上値重く推移する展開となった。112.09レベルでオープン。ロンドン午前8時に向けて円売りの需要が見られ、ドル円は小幅上昇し、その後ロンドン時間高値112.38まで上昇。寄り付きから軟調だった欧州株は英6月CPIの市場コンセンサス対比での下振れを受け続落し、加えて円がポンド円を筆頭に下落。円が円主導の円買いを受けドル円はロンドン下値111.97まで下落し、112.09レベルでNYへ渡った。ポンドドルは英6月CPIの下振れを受け1.31台から1.30ちょうど近辺まで下落する展開。朝方は1.3101レベルでオープン。経済指標発表前にロンドン時間高値1.3126まで上昇した後、すぐに1.30台後半まで反落。英6月CPIは前年比+2.6%と市場コンセンサス(+2.9%)より弱い結果となり、ポンドドルは1.30台前半まで下落。その後も欧州株の弱さも受け上値重く推移し、ロンドン時間安値となる1.3005まで下落し、1.3008レベルでNYへ渡った。(ロンドン・リリフ - 00531 444 179 日比野)
------	---

ニューヨーク	海外時間はオバマケア代替法案可決の不透明感が高まる中でリスク回避の動きが強まり、ドル円は112円半ば付近から111.97まで下落し、112.09レベルでNYオーブン。朝方は米金利の下落を受けてドル円は111.77まで下落。その後、米大手投資銀行の決算発表でトレーディング業務収益が大幅減少したことが明らかになったことから、金融セクターを中心にタリが大幅下落しドル円は安値111.69まで下落。しかし111円台後半ではドル買い意欲も強く、その後タリがマイナス幅を縮小したことや、「サウジアラビアが最大で日量100万バレルの追加輸出削減を検討」との報道を受けてWTI原油が上昇したことから、ドル円は112.11まで反発。しかし米金利が続落する中で上値も限定的となり、ドル円は112.05付近での狭いレンジでの推移が続き、112.07レベルでクローズした。一方ユーロドルは、20日のECB理事会を控え金融緩和縮小に関する発言への期待が高まる中、海外時間に節目であった1.1500を上抜け1.1550レベルでNYオーブン。海外時間の堅調な流れを引き継いだことや、英6月消費者物価指数が予想を下回り、ユーロドルが大幅に上昇したことから、ユーロドルは1年2ヶ月以来となる高値1.1583まで上昇。しかし、この水準では1-0売り意欲も強く、その後はやや水準を戻し1.1553レベルでクローズした。
--------	---

当資料は情報提供のみを目的として作成したもので、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:島田・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月18日	10:30	豪 RBA議事要旨(7/4開催分)	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.0%/2.6%	0.2%/2.9%
	17:30	英 PPI(前月比/前年比)	6月 0.0%/3.3%	0.1%/3.4%
	18:00	独 ZEW現状(期待)	7月 86.4/17.5	88.0/18.0
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	7月 35.6	-

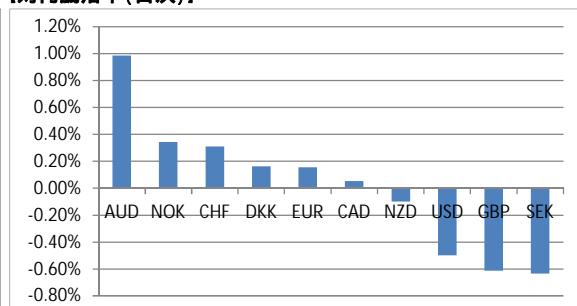
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月19日	20:00	MBA住宅ローン申請指數	-	-7.4%
	21:30	住宅着工件数/建設許可件数	6月 1,160K/1,201K	1,092K/1,168K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.70-112.50	1.1530-1.1590	129.10-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、オバマケア代替法案への不透明感を契機とした米金利低下、明日20日のECB理事会におけるタカ派的内容を期待したユーロ買い/ドル売り進行に伴うドル安および軟調な英CPIを受けたポンド円主導のクロス円下落といった複合要因により下落する展開となった。本日は下げ止まる展開を予想する。20日のECB理事会を前にユーロ相場が上値更新の展開となったものの、更なる上昇には理事会結果を待つこととなる。大幅に低下した米金利が更なる低下を示すことがリスクシナリオとなるが、ECB理事会等のイベントを前に米金利低下不服とそれに伴うドル円相場下げ止まりの展開をメインシナリオとして予想する。